

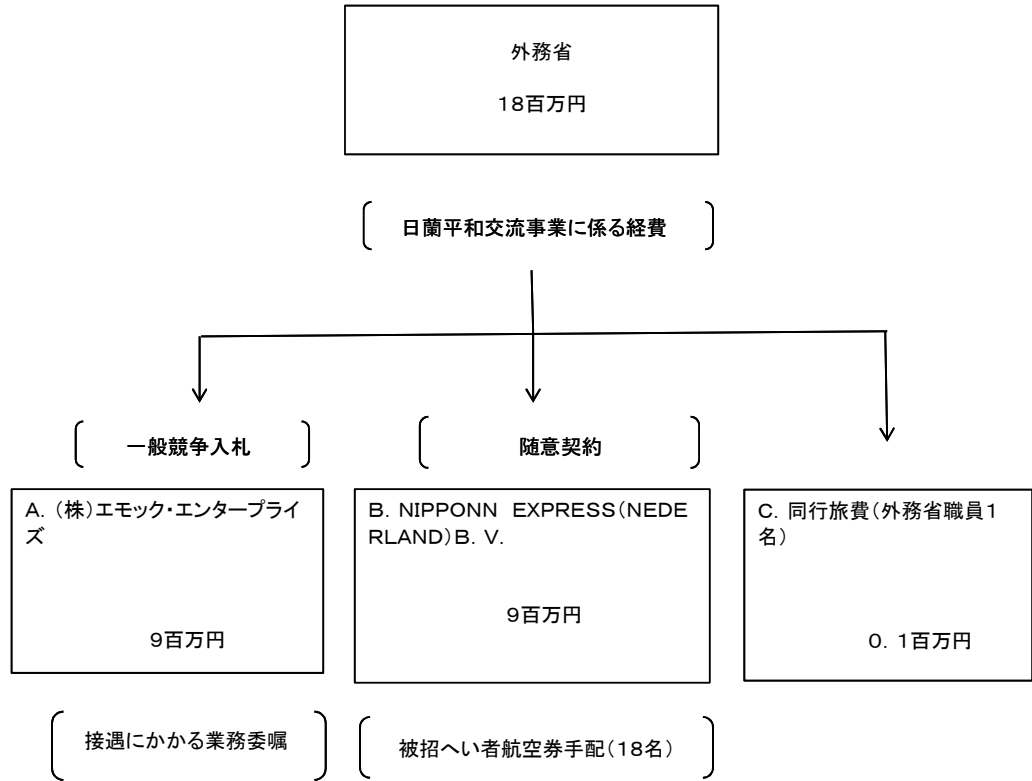
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日蘭平和交流事業		担当部局庁	欧州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始		担当課室	西欧課		課長 柳 淳		
会計区分	一般会計		施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第二号		関係する計画、通知等	平成7年から平成16年にかけて実施した平和友好交流計画の後継事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	オランダにおいては、旧蘭領東インド(現インドネシア)で元戦争捕虜(POW)や民間人抑留者が約9万人存在し、「過去の問題」が両国関係の棘となっていることを踏まえ、我が国の真摯な姿勢を示し、対日理解の促進及び両国の相互理解を深め、草の根レベルでの和解を実現するために実施している。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(第二次世界大戦中、旧蘭領東インド(現インドネシア)にて旧日本軍により被害を受け、反日的な感情のしこりが依然として残る)元POWや民間人抑留者等の戦争犠牲者を対象に、約10日間の日程で約19名を2回に分けて招聘し、小学校の訪問、原爆資料館の訪問、学生との意見交換、外務省主催レセプションを通じ、我が国への理解を促進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22	23	23	0.1	0.2	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	22	23	23	0.1	0.2	
	執行額		19	19	18			
	執行率(%)		87.9	81.7	76.8			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	両国の相互理解を深める努力を継続してきた結果、戦争犠牲者の日本に対する理解が深まり、かつては否定的であった態度も柔和なものに変化しつつある。訪日招聘後、被招聘者及び元戦争犠牲者団体幹部及び首相以下オランダ政府関係より本件事業への高評価や謝意が表明されている。我が国に対する道義的債務の支払いを求めるグループが行う月例のデモの総参加者数が一つの参考の指標となる。		成果実績	参加総人数	420名	455名	415名	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	招へい総人数 (戦争犠牲者グループ+日系2世等グループ)		活動実績 (当初見込み)	—	19名 (14+5)	19名 (14+5)	19名 (14+5)	19名 (14+5)
単位当たりコスト	(円／)		算出根拠	成果実績及び活動実績の双方を定量的に示すことが出来ない。				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	同行旅費	109	117					
	選考委員謝金	0	46					
計	109	163						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	日蘭平和交流事業は、オランダの首相を初めとする政治ハイレベル及び被招聘者である戦争犠牲者より、日蘭の草の根レベルでの和解に貢献しているとして高く評価されており、現在の訪日希望者のウエイティングリストも約200名にのぼることから、事業継続希望が種々寄せられている。 また、受入れ側である小学校や大学等からも、生徒の教育効果もあるとして、毎年の受入れを快く受けてくれており、まさに平和的な交流が戦争犠牲者の対日感情を軟化させている。 右現象は、実施後に在オランダ大使館で行う被招聘者からの感想・意見聴取結果からも顕著に現れている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	国内における接遇経費	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	被招へい者航空券手配(18名)	9			
計		9	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エモック・エンタープライズ	国内における接遇	9	3	77
2	NIPPONN EXPRESS (NE DRLAND) B. V.	被招へい者航空券手配(18名)	9	随意契約	
3	出張者A(外務省職員1 名)	同行旅費	0.1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					